

# 1.平成 20 年度育成経営の実態及び改善に関する基礎調査事業

この調査は、平成10年度より日本中央競馬会から委託を受け、育成環境の改善、育成技術の向上及び育成経営の強化に資することを目的として、育成経営全般にわたる調査として実施しています。調査結果により把握された育成業界の実態は、行政・JRA・関係団体の業務運営の参考になっております。

会員の皆様方からのご協力をいただきましたアンケート回答には、大変感謝しております。

最近の調査結果（平成20年）の抜粋をご報告いたします。

（調査対象牧場193牧場、回答牧場131牧場（回収率67.9%））

## 1. 創業年次

（回答牧場：130牧場）

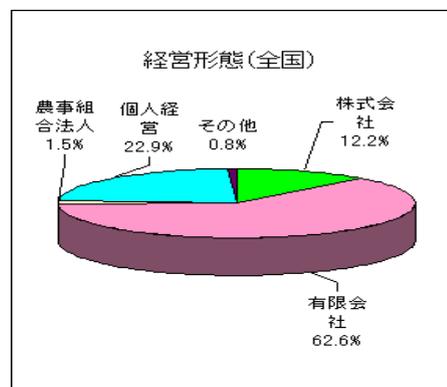
(1)

元号	明治	大正	昭和	平成	合計
牧場数	2	1	66	61	130

(2) 「第1次競馬ブーム期」（昭和40～48年）に21牧場、「第2次競馬ブーム期」（昭和61～平成3年）に23牧場と多くの牧場が設立され、また、バブル景気（昭和61～平成3年＝第2次競馬ブーム期）崩壊後の不況にもかかわらず育成の重要性の認識から育成牧場の設立が続き、48牧場に達しています。

## 2. 経営形態

有限会社62.6%、株式会社12.2%と会社組織が3/4を占め、個人経営が、1/4弱を占めています。



## 3. 経営主

(1) 経営主の年代は、30歳代12%、40歳代13%、50歳代37%、60歳以上38%となっています。

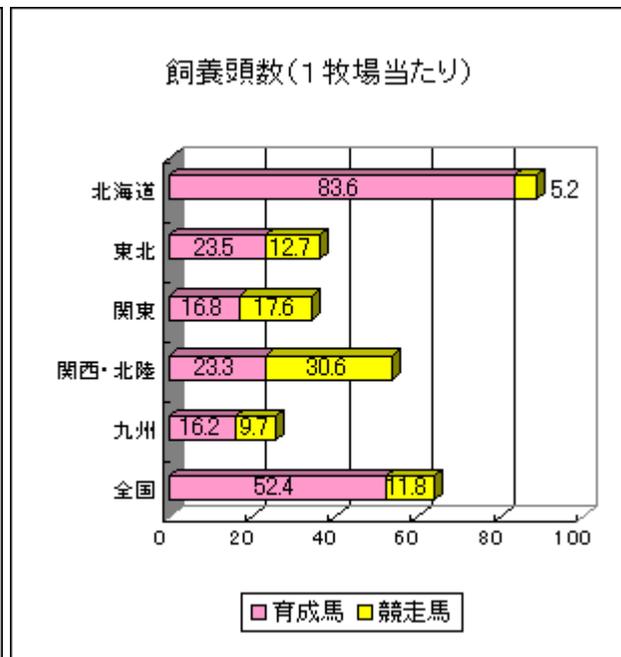
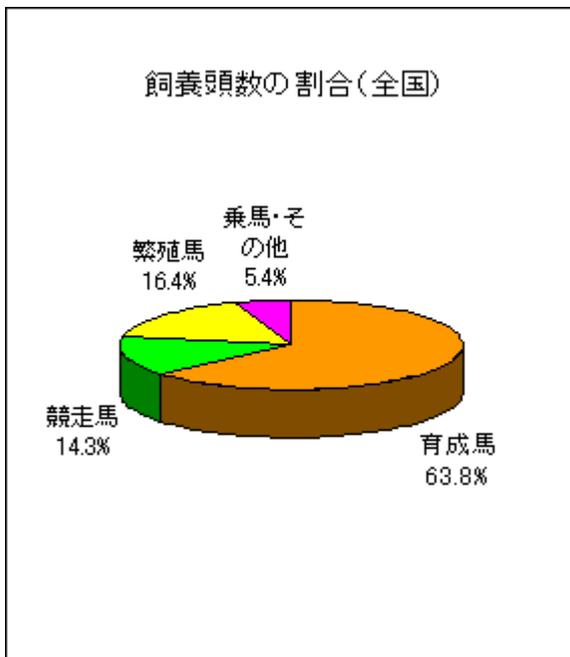
（回答牧場130牧場）

年代別	北海道	東北	関東	関西・北陸	九州	全国	%
20歳代	0	0	0	0	0	0	0.0%
30歳代	11	0	3	2	0	16	12.3%
40歳代	8	0	3	3	3	17	13.1%
50歳代	23	7	11	3	4	48	36.9%
60歳～	24	5	8	8	4	49	37.7%
合計	66	12	25	16	11	130	100.0%

#### 4. 飼養頭数

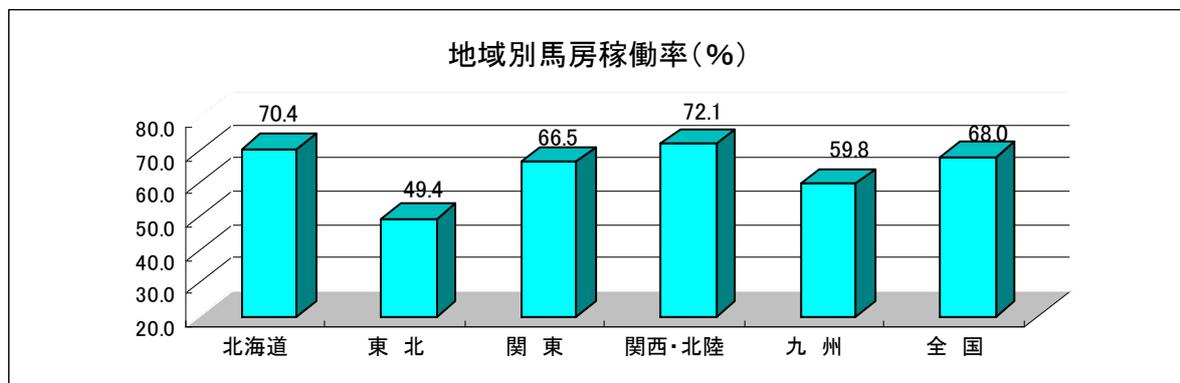
- (1) 1 牧場当たり育成馬 52.4 頭、競走馬 11.8 頭が飼養されています。
- (2) 1 牧場当たり地域別飼養頭数は、北海道地域：育成馬 83.6 頭、競走馬 5.2 頭、東北地域：育成馬 23.5 頭、競走馬 12.7 頭、関東地域：育成馬 16.8 頭、競走馬 17.6 頭、関西・北陸地域：育成馬 23.3 頭、競走馬 30.6 頭、九州地域：育成馬 16.2 頭、競走馬 9.7 頭でした。

地 区	飼養頭数								
	育成馬			競走馬			繁殖馬	乗馬 その他	合 計
	当歳馬	1～3 歳馬	計	調整・ 放牧	障害 調教	計			
北海道	1,188	4,079	5,267	325	1	326	1,608	72	7,273
東 北	14	244	258	136	4	140	28	19	445
関 東	4	365	369	361	26	387	11	391	1,158
関西・北陸	0	373	373	477	12	489	0	61	923
九 州	8	170	178	107	0	107	12	2	299
全 国	1,214	5,231	6,445	1,406	43	1,449	1,659	545	10,098
%	12.0%	51.8%	63.8%	13.9%	0.4%	14.3%	16.4%	5.4%	100.0%



## 5. 馬房稼働率

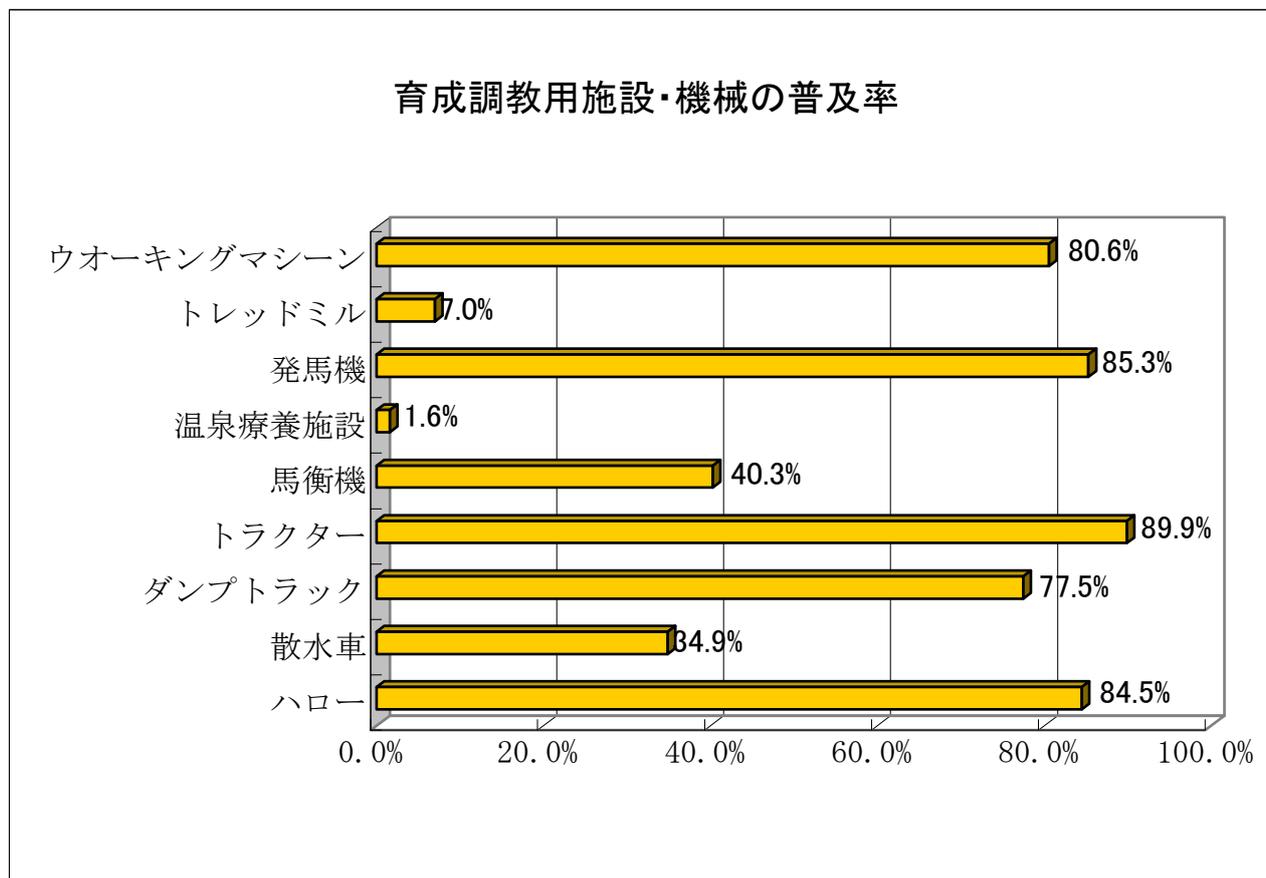
(1) 1 牧場当たりの平均馬房数は、80 馬房(9,639 馬房/121 牧場)で、馬房稼働率は、全国平均で68.0%でした。



## 6. 育成調教用施設・機械の普及率

育成調教用施設・機械の普及率は、下表に示すとおりです(回答牧場: 129 牧場)。

区分	ウォーキングマシン	トレッドミル	発馬機	温泉療養施設	馬衡機	トラクター	ダンプトラック	散水車	ハロー
普及牧場数	104	9	110	2	52	116	100	45	109
普及率(%)	80.6%	7.0%	85.3%	1.6%	40.3%	89.9%	77.5%	34.9%	84.5%
普及延べ台数	311	9	144	2	136	310	254	58	168

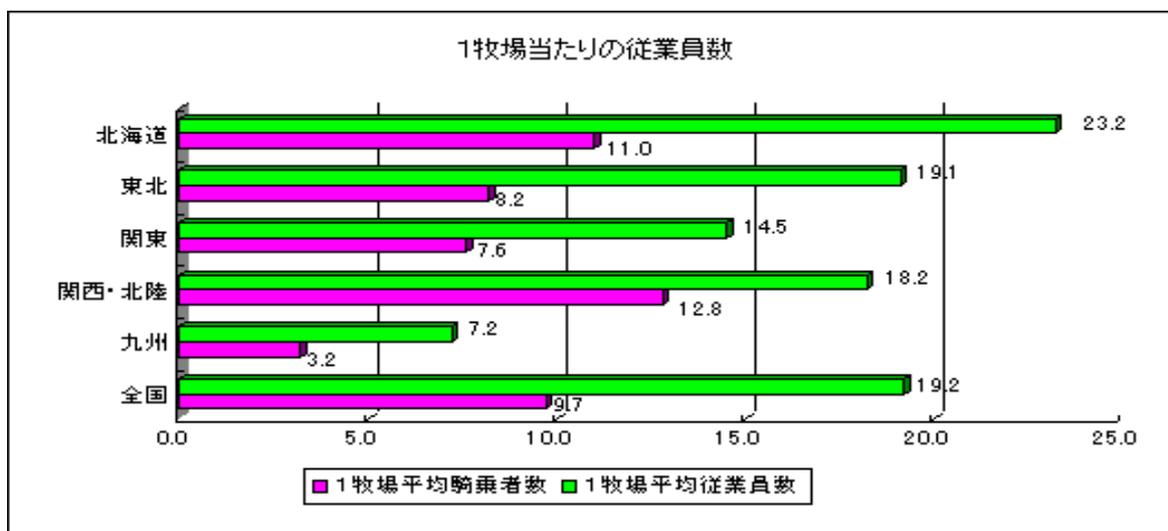


## 7. 従業員

### (1) 地域別従業員数

- ① 全国(126 牧場回答)の従業員数は1 牧場平均 19.2 人で、地域別には、北海道地域の牧場の 23.2 人が最も多くなっています。外国人雇用従業員は、全国で 67 人でした。
- ② 1 騎乗者の平均騎乗頭数は、5.5 頭でした。(6,680 頭/1,220 人=(1~3 歳馬+競走馬)/騎乗者)

区 分	全国	北海道	東北	関東	関西・北陸	九州
全体数	2,420	1,533	191	319	291	86
1 牧場平均従業員数	19.2	23.2	19.1	14.5	18.2	7.2
外国人従業員 計	67	46	1	9	2	9
事務員	191	109	19	31	23	9
調教管理者	180	92	22	36	20	10
うち 外国人	6	3		2		1
騎乗者	1,220	728	82	168	204	38
うち 外国人	56	40	1	6	2	7
1 牧場平均騎乗者数	9.7	11.0	8.2	7.6	12.8	3.2
厩務作業員	829	604	68	84	44	29
うち 外国人	5	3		1		1
回答牧場数	126	66	10	22	16	12



(2) 採用した騎乗者及びきゅう務作業者の経歴

- ① 1 牧場当たりの採用人数（1 年間）は、採用したと回答した牧場では全国平均で 4.1 人でした。また、採用経歴では、「育成牧場等経験者」が最も多く延べ 91 名（25.9%）、次が「馬術経験者」の延べ 82 名（23.3%）でした。
- ② 「外国人」の採用は、延べ 30 名、そのなかで北海道地域が 21 名（70.0%）を占めています。また、採用者の国籍は、フィリピンが 18 名、マレーシアが 6 名とアジア地域からの者が多くを占めています。
- ③ 「30～59 馬房規模」の牧場で延べ 70 名の採用があり、うち「育成牧場等経験者」が最も多い 22 名の採用でした。また、「90 馬房以上規模」の牧場では、「馬術経験者」50 名の採用でした。

採用した騎乗者及びきゅう務作業者の経歴（馬房別）

（平成 19 年 5 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日の 1 年間）

規模 (馬房別)	養成 機関	育成 牧場等 経験者	馬術 経験者	外国人	競馬場 関係者	その他	合 計	回 答 牧場数	1 牧場 当たり の採用 人数
1～29	1	6	3	3	2	3	18	9	2.0
30～59	4	22	12	9	14	9	70	29	2.4
60～89	9	16	12	5	6	9	57	22	2.6
90～	24	47	50	13	7	57	198	24	8.3
合 計	38	91	77	30	29	78	343	84	4.1
%	11.1%	26.5%	22.4%	8.7%	8.5%	22.7%	100.0%		

外国人採用の内訳

（平成 19 年 5 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日の 1 年間）

区 分		北海道	東北	関東	関西・ 北陸	九州	合 計	回 答 牧場数
EU 圏	アイルランド	2					2	1
オセアニア	ニュージーランド			1			1	1
	オーストラリア	1					1	1
	小計	1		1			2	2
アジア	フィリピン	12		1	1	4	18	11
	マレーシア	4		2			6	3
	小計	16		3	1	4	24	14
南米	ブラジル	2					2	1
合 計		21	0	4	1	4	30	18
%		70.0%		13.3%	3.3%	13.3%	100.0%	

### (3) 給与

平均の年収は、「牧場作業等騎乗業務を行わない人」が250万円、「騎乗経験1年未満の人」が214万円、「騎乗経験1～5年未満の人」が268万円、「騎乗経験5年以上の人」が354万円でした。

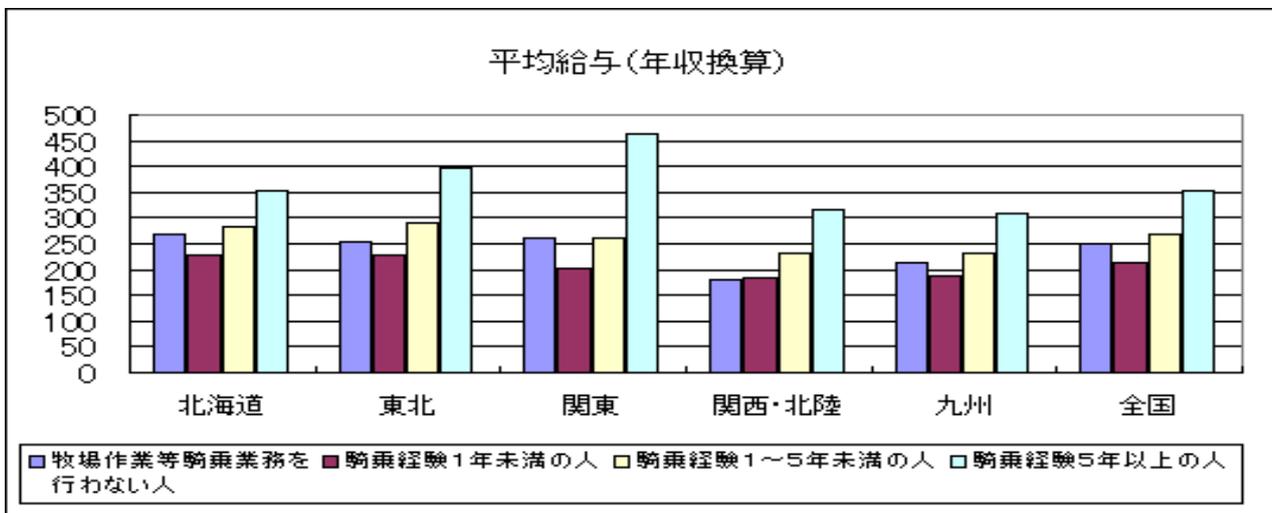
(留意事項)

1. 年収換算は、月額×12+ボーナス(月数×月額)で計算しました。
2. 牧場のなかにはボーナス欄が空欄(無記入)の牧場があり、この場合年収は低めに算出されます。
3. 上記事情もあり、あくまでも参考としての数値です。
4. また、牧場の多くは宿舍・食事提供等があるため、一般の給与水準とは単純比較ができません。

(平均の年収)

(単位：万円)

区分	北海道	東北	関東	関西・北陸	九州	全国
牧場作業等騎乗業務を行わない人	267	255	262	179	215	250
騎乗経験1年未満の人	227	228	201	183	186	214
騎乗経験1～5年未満の人	283	290	262	230	230	268
騎乗経験5年以上の人	354	398	462	317	309	354
給与が最高の人	508	638	561	566	362	523

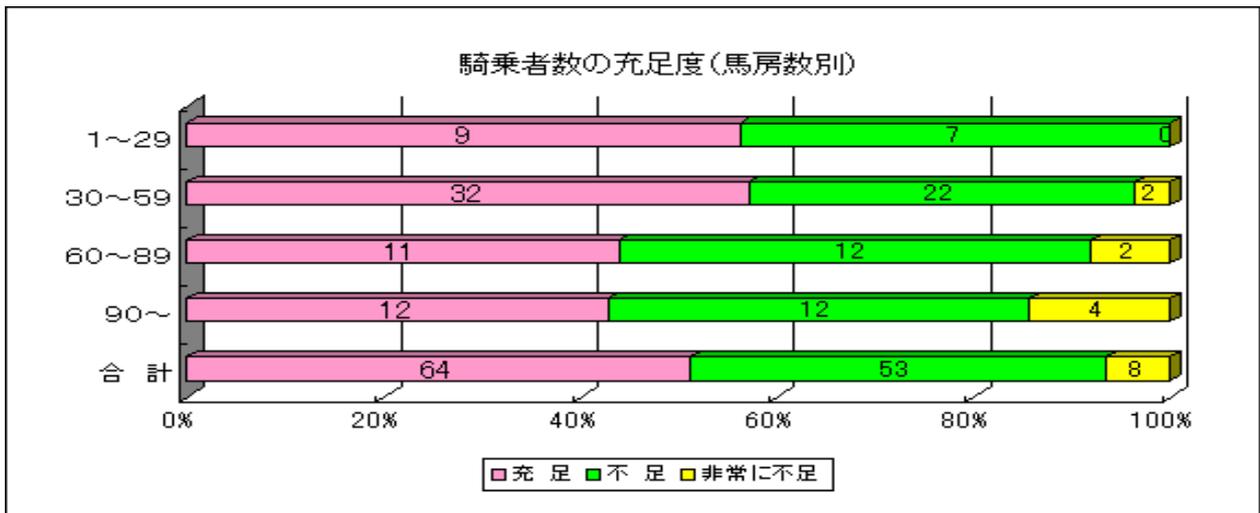


## 8. 騎乗者

### (1) 騎乗者数の充足度

- ① 「充足」を感じる牧場は、全国平均で51.2%でした。
- ② 1牧場当たりの不足人数は、全国平均で1.1人(143人/125牧場)でした。
- ③ 規模が大きくなるにつれ、「不足している」傾向がみられます。

規模(馬房数別)	充 足	不 足	非常に不足	不足延べ人数	回答牧場数
1～29	9	7	0	6	16
30～59	32	22	2	43	56
60～89	11	12	2	29	25
90～	12	12	4	65	28
合 計	64	53	8	143	125
%	51.2%	42.4%	6.4%		100.0%



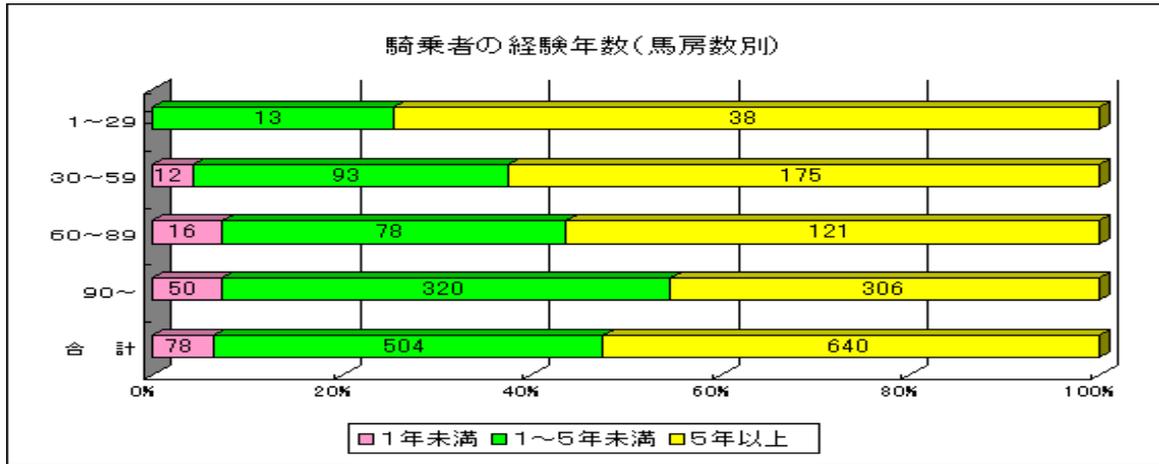
## (2) 騎乗技術者レベルの満足度

- ① 「満足」は、全国で77牧場(64.7%)でした。
- ② 規模が大きくなるにつれ、「不満足」・「非常に不満」が増加しています。  
(図表は省略)

## (3) 騎乗者の経験年数

- ① 騎乗者経験年数は、「5年以上」経験者が全国平均で52.8%を占めています。
- ② 規模が大きくなるにつれ、経験年数が少なくなる傾向がみられます。

地 区	1年未満	1～5年 未 満	5年以上	合 計	回答牧場数
北海道	43	296	414	753	64
東 北	6	32	44	82	9
関 東	7	92	99	198	24
関西・北陸	22	80	54	156	15
九 州	0	4	40	44	11
全 国	78	504	651	1,233	123
%	6.3%	40.9%	52.8%	100.0%	



## 9. 調教業務

### (1) せり馴致

- ① せり馴致を行っている牧場は、全国で65牧場(49.6%)でした。
- ② そのうち、北海道地域では51牧場(78.5%)と多くを占めています。

区分	行っている	馴致内容					行っていない	記入なし
		駐立	挙肢	常歩	速歩	検温		
北海道	51	50	47	49	47	44	15	0
東北	3	3	2	3	3	3	7	2
関東	5	5	5	5	5	5	18	2
関西・北陸	1	1	1	1	1	1	9	6
九州	5	4	4	5	3	2	6	1
全国	65	63	59	63	59	55	55	11
構成比(%)	49.6	(96.9)	(90.8)	(96.9)	(90.8)	(84.6)	42.1	8.4

注1. 「せり馴致の有無」に関する構成比欄は、131牧場に対する割合です。

注2. 「馴致内容」に関する構成比は、実施牧場65牧場に対する割合です。

### (2) 騎乗馴致

- ① 騎乗馴致を行っている牧場は、全国で107牧場(81.7%)でした。
- ② そのうち、北海道地域では63牧場(58.9%)と多くを占めています。

区分	行っている	馴致開始から終了までの日数								行っていない	記入なし
		~10日	~20日	~30日	~40日	~50日	~60日	60日超	不明		
北海道	63	17	27	13		2	2		2	2	1
東北	10		3	5				2		0	2
関東	16	1	7	4	1		3			8	1
関西・北陸	7		1	2			4			5	4
九州	11	1	2	3				3	2	1	0
全国	107	19	40	27	1	2	9	5	4	16	8
構成比(%)	81.7	(17.8)	(37.4)	(25.2)	(0.9)	(1.9)	(8.4)	(4.7)	(3.7)	84.2	20.0

注1. 「せり馴致の有無」に関する構成比欄は、131牧場に対する割合です。

注2. 「馴致開始から終了までの日数」に関する構成比は、実施牧場107牧場に対する割合です。

(3) トレーニング目標

1) 育成馬

- ① トレーニング目標として、「競走直前の仕上げまで」が45.0%、「新馬調教仕上げまで」が35.0%と高度の目標を設定しています。
- ② 大規模牧場になるほど目標を高く設定しており、馬房数90頭以上の牧場では68.0%が「競走直前の仕上げまで」行っています。

地域別

区 分	軽い駆け足まで	中程度の駆け足まで	新馬調教仕上げまで	競走直前の仕上げまで	合計	記入なし
	25～30秒 /ハロン	20～25秒 /ハロン	15～15秒 /ハロン	追い切り調教		
北海道	2	3	26	32	63	3
東北	1	3	1	5	10	2
関東	2	3	12	6	23	2
関西・北陸	1	4	1	7	13	3
九州	0	5	2	4	11	1
全国	6	18	42	54	120	11
構成比	5.0%	15.0%	35.0%	45.0%	100.0%	

注. 構成比欄は、120牧場に対する割合です。

馬房数別

区 分	軽い駆け足まで	中程度の駆け足まで	新馬調教仕上げまで	競走直前の仕上げまで	合計	記入なし
	25～30秒 /ハロン	20～25秒 /ハロン	15～15秒 /ハロン	追い切り調教		
1～29	2	3	6	6	17	2
30～59	2	12	20	19	53	3
60～89	1	2	10	11	24	1
90～	1	1	6	17	25	3
計	6	18	42	53	119	9
構成比	5.0%	15.1%	35.3%	44.5%	100.0%	

注. 構成比欄は、119牧場に対する割合です。

## 2) 競走馬

- ① トレーニング目標として、「競走直前の追い切りまで」が46.3%、「やや強い調教（15-15/秒）」が26.4%と高度の目標を設定しています。
- ② 大規模牧場になるほど目標を高く設定しており、馬房数90頭以上の牧場では74.1%（20/27牧場）が「競走直前の追い切りまで」行っています。
- ③ 「リハビリ休養馬が主体」とする牧場は、全体の5.8%（7/121牧場）になっています

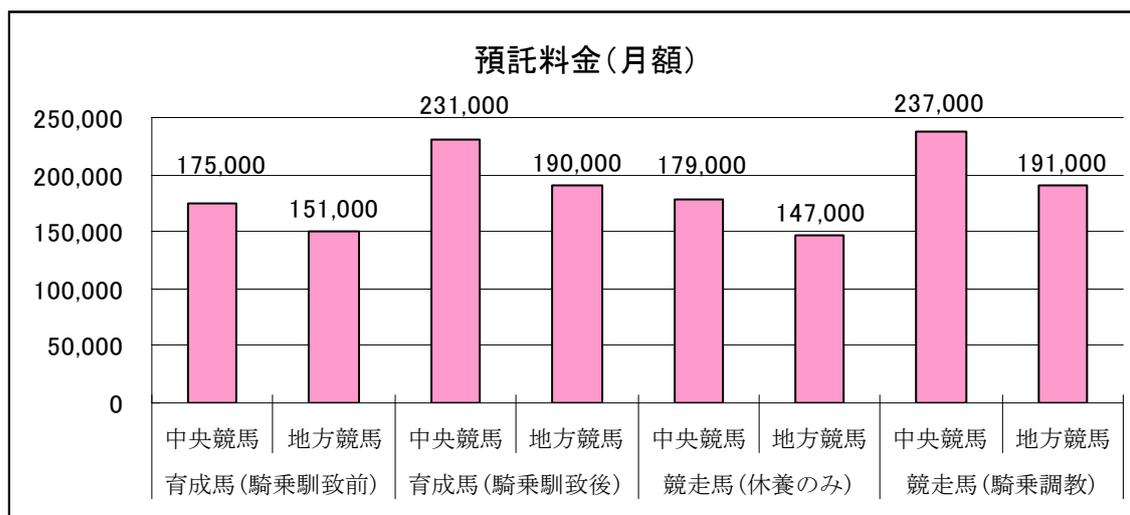
### 馬房数別

区分	リハビリ休養馬が主体	軽いキャンター	普通キャンター	やや強い調教（15～15秒/ハロン）	競走直前の追い切りまで	合計	記入なし
1～29	4	1	2	3	7	17	2
30～59	2	6	9	17	20	54	2
60～89	0	0	6	8	9	23	2
90～	1	0	2	4	20	27	1
合計	7	7	19	32	56	121	7
構成比	5.8%	5.8%	15.7%	26.4%	46.3%	100.0%	

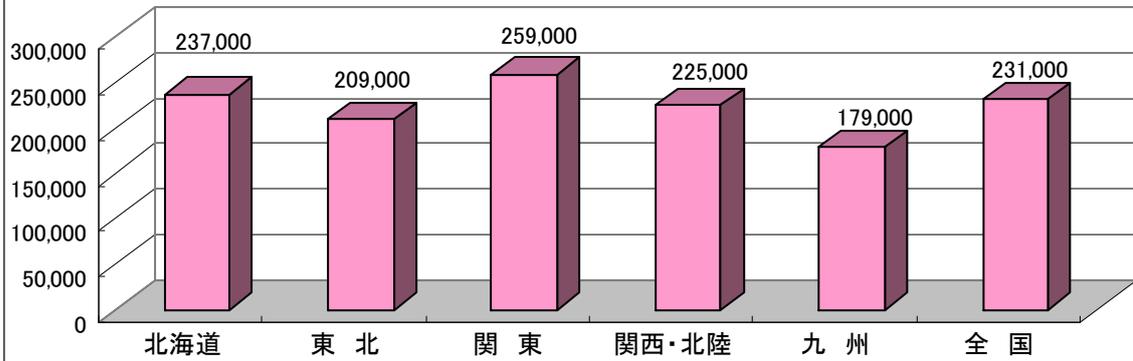
注. 構成比欄は、121牧場に対する割合です。

## 10. 預託料金（装削蹄料金、治療代等を除く基本料金）

- (1) 「中央競馬向け」馬月額預託料は、育成馬（騎乗馴致前）が175千円、育成馬（騎乗馴致後）231千円でした。また、競走馬については、「休養のみ」が179千円、「騎乗調教」が237千円でした。
- (2) 「地方競馬向け」馬については、「中央競馬向け」馬の約8割強の水準でした。
- (3) 牧場の規模別（馬房数別）にみると、大規模になれば預託料金が高くなる傾向がみられます。



預託料金(中央競馬、育成馬・騎乗馴致後)



規模別預託料金(中央競馬)

